

報告のテーマ

南スーダンに対する ODA の実績と統一政府瓦解後の援助の方針

本件の背景

独立間もない 2013 年に政府が分裂して以来、南スーダンでは政府と反政府勢力との対立・抗争が続いている。2015 年 8 月の和平合意に基づいて今年 4 月統一政府が樹立されたが、7 月の武力衝突によって瓦解。武力紛争が各地で広がっている。最近では地方政府が元副大統領派の反政府勢力に合流するなど、内戦状態は深刻の度を増している。2013 年以降の難民・避難民の数は 250 万人に迫る勢いである。また、単に政治勢力の抗争に留まらず、政治勢力に関係する諸民族間の異民族排斥、憎悪と殺戮が広がっており、南スーダンは人道危機に直面している。

報告いただきたい内容

1. 2005 年の包括的和平合意以降の南スーダンに対する ODA の実績（分野、スキーム、金額の概略）
2. 統一政府瓦解後の現政府を正当な政府とみなすか否かの日本政府のスタンス
3. 現政府に対する外務省の援助方針。継続する場合 2 のスタンスとの整合性。
4. 人道危機状況に対しての人道支援の方針と具体的な計画

報告いただく内容に関わる論点

背景で述べたように、南スーダンは和平合意が破綻した状態が続いており、国民統合が存在するとは言い難い。この状態を政府はいかに認識し、援助の方針を立てているのかを知りたい。その上で、支援のあり方について別途専門家や NGO を交えた話し合いの場をもつ必要があると考える。